

## 校長研修だより52

### 連休明けからでも大丈夫！「黄金週間」

2022・4・26 重枝 一郎

私たちは、新学期スタートの一週間を「黄金週間」と呼んで計画を立てている。「黄金週間」とは5月の大型連休のことではない（笑）。この時期の取組はこれからの1年間に大きく影響する重要な時になる。いわゆる「初頭効果」である。そのためには、すべきポイントがある。

まず・・・

○学級経営方針の伝達・・・こんなクラスにしたいを明確に具体的に伝えること

例 仲間を大切に（全） 基本的な生活ができるようになる（1年）

自主性を身につける（2年） 全員進路を開拓する（3年）

ここでのポイントは、そのためにはどうするか？と生徒に考えさせること。

これによって不安がある生徒たちに安心感・包まれ感が生まれる。学級だよりの題名などに盛り込み、保護者へも伝えておく。これができている、成長していると思えた事象があれば、ほめる材料になる。ここが大事である。

次に・・・

○学級目標づくり・・・他のクラスにない自分たちの言葉を創作するように促す。

団結心が芽生え、何より自分たちが大切に。学年目標や学校経営方針とつなげる意識は大切。

○学級組織づくり・・・2・3年生は、基本的な約束事を押さえて、できるだけ生徒たちに方法から決定まで委ねてみる。存在感、良好な仲間関係、自主性が育つ。1年生は、係活動や当番活動の理解で時間をとる。クラスの中の存在価値づくりに重きをおく。誰がどんな役割をしているか見える化する。そのいいところ探しを随時行う。

さらに・・・

○班長会の役割・・・担任のできる範囲で定期的に関き、クラスの現状、課題を収集、共有するとよい。ここでは、リーダー育成、クラスのよい点をクローズアップすること、疎外感を感じている生徒の早期対応などが期待できる。

※班長会は、行事ごとの実行委員など、さまざまな形でフレキシブルに。

最後に・・・

○担任の役割明示・・・生徒に失敗のやり直しを保障する、困っている生徒の味方になるなど担任がサポートすることを伝えるとよい。さらに挑戦することの価値、役割の責任を果たすことなどを理解し意欲が生まれ、居心地のよいクラスを目指す。

◎もちろん、これですべてうまくいくはずもない。他の先生方と情報を交換し、自分なりのアイデアで生徒との出会いの場をつくり、1年をスタートさせよう。困ったときは、まわりの同僚がサポートしてくれる。

クラス・授業が好きになる生徒を育て、私たち自身が楽しく学校生活を送れるように！